

財務の状況

収支状況等

収支状況について、平成21年3月期は、政府の経済対策を受け、セーフティネット貸付などの実行に努めた結果、872億円の経常収益を計上しました。一方で、金融経済環境の悪化による取引先小企業の厳しい業況を反映し、与信関係費用を380億円計上したことなどにより、1,062億円の経常費用を計上しました。この結果、特別損益を含めた当期純損失は187億円となりました。

財務状況について、出資金の受入647億円および当期純損失187億円の計上により、純資産の部は、1,511億円となりました。

【損益計算書】

(自平成20年10月1日至平成21年3月31日) (単位:百万円)

科目	金額
経常収益	87,283
資金運用収益	82,390
役務取引等収益	47
政府補給金収入	4,516
その他経常収益	329
経常費用	106,290
資金調達費用	32,171
役務取引等費用	598
その他業務費用	10
営業経費	35,444
その他経常費用	38,065
経常利益(または損失)	▲19,007
特別利益	285
特別損失	29
当期純利益(または損失)	▲18,750

【貸借対照表】

(平成21年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債および純資産の部	
科目	金額	科目	金額
現金預け金	59,024	借入金	5,756,339
買現先勘定	11,487	社債	1,239,189
貸出金	7,190,817	その他負債	22,285
その他資産	15,296	賞与引当金	3,312
有形固定資産	115,560	役員賞与引当金	7
無形固定資産	3,253	退職給付引当金	118,849
貸倒引当金	▲104,290	役員退職慰労引当金	6
		負債の部合計	7,139,989
		資本金	461,470
		資本剰余金	181,500
		利益剰余金	▲491,809
		純資産の部合計	151,160
資産の部合計	7,291,149	負債および純資産の部合計	7,291,149

リスク管理債権の状況

平成20年度末における当事業のリスク管理債権は、5,174億円(貸出金残高に対する比率は7.2%)でした。このうち、貸出条件緩和債権が約60%と過半を占めています。これは政策金融機関として、お客さまの実態に応じて貸出条件を緩和し、経営の立て直しや企業再生を後押ししていることによるものです。

【リスク管理債権の状況】

(平成20年度末)(単位:億円、%)

	金額	貸出金残高に対する比率
破綻先債権	433	0.6
延滞債権	1,638	2.3
3ヵ月以上延滞債権	2	0.0
貸出条件緩和債権	3,099	4.3
リスク管理債権合計	5,174	7.2
貸出金残高	71,908	100.0

(注) 数値については部分直接償却後の金額を記載しています。